

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	認知症の進行によって利用者の混乱・訴えが続くような時に、不適切と思われる声掛けや対応をしてしまうことがある。	認知症についての理解を深め、高齢者虐待防止関連法について職員全員が理解し、意識の共有を図る。	認知症についての勉強会を継続的に行い、高齢者虐待防止関連法について再度研修を行い、職員が意識していない不適切なケアを無くしていく取組をする。	12ヶ月
2	1	法人としての基本理念はあるが、具体的にイメージすることが出来難い。以前は申し送り時に「さくら新宮10箇条」として介護心得の様な形で唱和していたが現在は行っていない。	職員全員が目指す方向、自分たちはどういう介護をしたいのか、どういう施設でありたいのかを具体的にイメージできるような施設独自の介護理念を作る。	職員全員にアンケートを取り、またフロア会議で検討を重ね、皆が納得して自分のものとしての介護理念を作り上げる。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。